

は し が き

本書は、平成 27 年度から令和元年度までの 5 年間の本県における県税の概要を収録したものです。

この 5 年間に於いて、日本経済は、雇用・所得環境の改善が続き、企業収益が高水準で推移する中、内需の柱である個人消費や設備投資が増加傾向で推移するなど、緩やかに回復を続けてきました。しかし、令和元年度末からは、新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動は大幅に抑制され、急速な景気の悪化を経験することとなりました。

この間、本県の県税収入は、平成 27 年度の 1,462 億 6,124 万円から令和元年度は、1,517 億 6,817 万円と、55 億 653 万円、3.6%の増収となっております。円高の影響等により地方消費税が減収となった平成 28 年度を除いては増収を続けており、日本経済の動向を反映したものとなっておりますが、今後、新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されているところです。

愛媛県では、現在、新型コロナウイルス感染症対策に全力を傾注しており、また、平成 30 年度に発生した西日本豪雨災害からの創造的復興に総力を挙げ取り組んでいるほか、「愛のくに 愛顔あふれる愛媛県」を基本理念とする「第六次愛媛県長期計画」のもと、各種施策を展開しています。

改めて申し上げるまでもなく、県税はこのような県の諸施策を推進していくうえで最も重要な自主財源であります。本書を県税の実情把握と今後のあり方を探る資料として活用いただければ幸いに存じます。

令和 3 年 3 月

愛媛県総務部行財政改革局長税務課長

森 本 利 幸